

第1回 IBD研究班主催 医療従事者向けWebinar
IBD患者におけるCOVID-19
～研究班の活動を総括し今後に役立てる～
2023/09/27

J-COSMOSについて

東邦大学医療センター佐倉病院
消化器内科/IBDセンター
松岡 克善

2019年12月31日

新型コロナウイルスは、この記事で初めて世界に報道された

December 31, 2019

Wuhan Municipal Health Commission announces pneumonia epidemic

Via *Hubei Ribao*: [Wuhan Municipal Health Commission Announces Pneumonia Epidemic](#). Unfortunately, it tells us very little we didn't already know. The Google translation:

Hubei Daily (Reporter Yu Jinyi) On December 31, 2019, the Wuhan Municipal Health Commission notified the pneumonia epidemic situation in Wuhan: Recently, some medical institutions in Wuhan have received a number of pneumonia patients, all of which are related to South China Seafood City.

After receiving the report, the Wuhan Municipal Health and Health Commission immediately conducted a case search and retrospective investigation related to South China Seafood City in the city's medical and health institutions.

COVID-19パンデミックはIBD日常診療を直撃した

- COVID-19の腹部症状は、IBDの再燃と区別できるのか？
- IBDの患者さんはCOVID-19発症リスクは高いのか？重症化しやすいのか？
- 免疫抑制を受けているIBD患者さんはCOVID-19発症リスクは高いのか？
- 免疫抑制を受けているIBD患者さんは重症化しやすいのか？
- IBD治療薬は続けるべきか？
- 点滴、皮下注のために来院すべきか？
- 再燃した場合は免疫を抑制する薬を投与してよいのか？
- COVID-19を発症した際に薬は続けるべきか？
- 大腸内視鏡検査を実施してよいのか？
- 治験は継続できるのか？

[Home](#) / [Current Data](#)

Current Data

Date last updated: 08/03/2021

General comments: *We provide these summary data in the spirit of transparency and open data sharing. Given the relatively small number of reported cases and preliminary nature of these reports, we do not recommend these data be used to inform clinical decisions at this time. Additionally, as many mild cases of COVID-19 do not undergo testing, these data may over-represent more severe cases in which COVID-19 testing was performed. Please note that rows and columns from tables below may not add up to the exact number of total reported cases due to incomplete data and/or non-mutually exclusive variables.*

Please use the following citation if referencing the data on this page: Brenner EJ, Ungaro RC, Colombel JF, Kappelman MD. SECURE-IBD Database Public Data Update. covidibd.org. Accessed on MM/DD/YY.

Total number of cases reported: 6,438

[Report a Case](#)

Cases reported by country*

country	N
United States	2248
United Arab Emirates	20
Afghanistan	1
Argentina	97
Austria	132
Australia	12

2020年3月29日



久松 理一



難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班の先生方へ (COVID-19罹患したIBD患者さんのレジストリ研究)

平素よりご指導いただき有難うございます。

このたび厚生労働省より令和2年度 難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班 研究代表者を拝命いたしました（任期3年）。歴史ある班の研究代表者として責任の重みを痛感しております。全力で班の発展および日本のIBD患者様のQOL改善にむけて努力していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、COVID-19の感染が収束の気配を見せないなか、IBD患者さんが罹患するケースも出てきています。

米国ではレジストリーが始まり、ECCOなどでも患者さん向けアナウンスが公開されるなどしています。

日本においてもCOVID-19に罹患したIBD患者さんの実態、経過を知ることが非常に重要なことと考えます。

班自体は正式には4月開始ではありますが、現況を考えレジストリ研究の立案に着手いたしました。

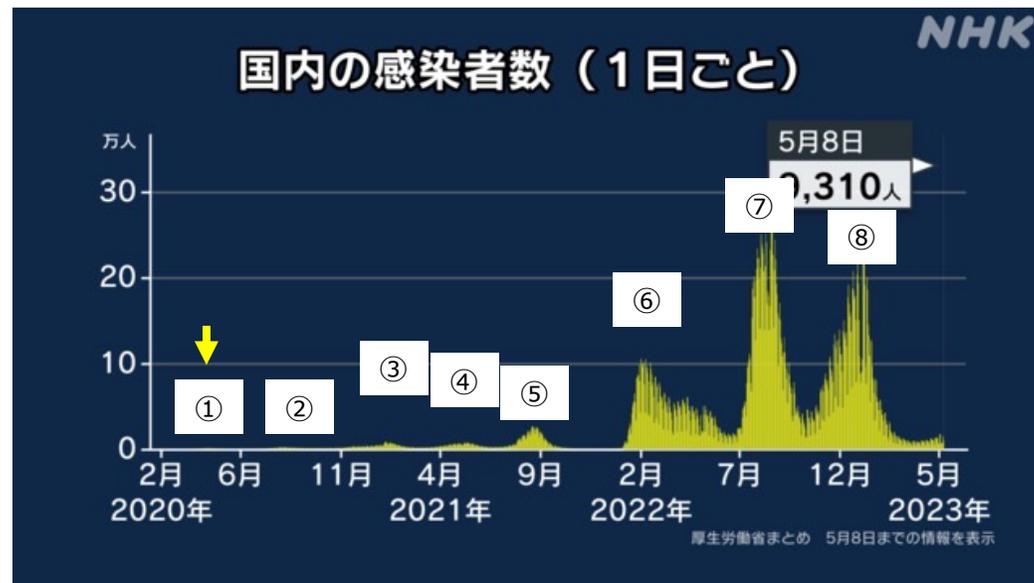
具体的には札幌医科大学（仲瀬裕志教授）が基幹施設となり倫理委員会の承認を得たのち、班員の先生方のご施設にご協力をお願いすることになると思います。

その際は、ぜひ宜しくご協力のほどお願い申し上げます。

令和2年度

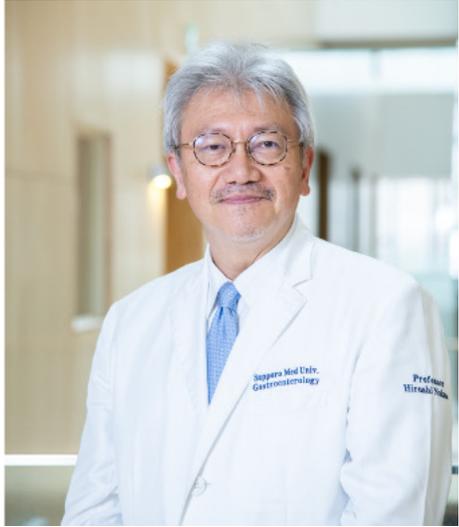
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班

研究代表者 久松理一



<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data-all/>

札幌医科大学医学部消化器内科



仲瀬 裕志 教授



林 優希 先生



横山 佳浩 先生



平山 大輔 先生

札幌医科大学医学部消化器内科学講座HPより

2020年4月2日 札幌医科大学附属病院臨床研究審査委員会申請

2020年5月1日 実施許可

J-COSMOS group (77施設)

愛知医科大学 消化管内科	教授	佐々木 誠人	東海大学医学部付属八王子病院 内科学系・消化器内科	教授	鈴木 孝良
秋田赤十字病院 消化管内科	あきた健康管理センター所長	飯塚 政弘	東京医科歯科大学 臨床試験管理センター・消化器内科	准教授	長堀 正和
旭川医科大学内科学講座 消化器血液腫瘍制御内科学分野	准教授	藤谷 幹浩	東京医科大学 消化器内科 IBD・良性腸疾患センター	准教授	福澤 誠克
岩手医科大学医学部 消化器内科消化管分野	教授	松本 主之	東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科	主任教授	猿田 雅之
浦添総合病院 消化器病センター	顧問	金城 福則	東京女子医科大学医学部 消化器・一般外科	教授	板橋 道朗
大阪医科大学 第2内科	専門教授	中村 志郎	東京大学医科学研究所附属病院 外科	教授	篠崎 大
大阪市立大学医学部附属病院 消化器内科	講師	鎌田 紀子	東京大学医学部 腫瘍外科・血管外科	教授	石原 総一郎
大阪大学大学院 医学系研究科 消化器内科学	准教授	飯島 英樹	東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患内科	部長	吉村 直樹
大阪母子医療センター消化器・内分泌科	診療部長	恵谷 ゆり	東邦大学医療センター 佐倉病院 消化器内科	教授	松岡 克善
大船中央病院 消化器・IBDセンター	特別顧問	上野 文昭	東北大学 消化器内科	助教	角田 洋一
岡山大学病院 IBDセンター	准教授・センター長	平岡 佐規子	東北労災病院大腸肛門外科、炎症性腸疾患センター	センター長	高橋 賢一
香川大学医学部附属病院 小児科	臨床助教	近藤 健夫	獨協医科大学病院 消化器内科	准教授	富永 圭一
金沢医療センター 消化器内科	部長	加賀谷 尚史	戸畑共立病院 消化器病センター	医長	酒見 亮介
関西医科大学 内科学第三講座	主任教授	長沼 誠	富山大学附属病院 第三内科	助教	南條 宗八
北里大学医学部 新世紀医療開発センター・消化器内科	教授	小林 清典	土庫病院 奈良大腸肛門病センター 外科	副院長	吉川 周作
北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター	副センター長	小林 拓	名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学	講師	尾関 啓司
京都大学大学院医学研究科・消化器内科学	助教	山本 修司	日本鋼管病院 消化器肝臓病センター	診療医	淵上 綾子
京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器内科学	准教授	高木 智久	北海道大学 内科学講座 消化器内科学分野	助教	桂田 武彦
杏林大学医学部 消化器内科学	教授	久松 理一	兵庫医科大学病院 炎症性腸疾患学講座内科部門	特任准教授	渡辺 憲治
熊本大学病院 消化器内科	医員	古田 陽輝	弘前大学大学院医学研究科・消化器血液内科学講座	准教授	櫻庭 裕丈
久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門炎症性腸疾患センター	教授	光山 慶一	福岡大学医学部 消化器内科学講座	主任教授	平井 郁仁
群馬大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科	医員	橋本 悠	福岡大学筑紫病院 消化器内科	准教授	久部 高司
国立成育医療研究センター 消化器科/小児IBDセンター	診療部長	新井 勝大	藤沢市民病院 消化器内科	診療科主任部長	岩瀬 滋
埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科	准教授	加藤 真吾	藤田医科大学病院 消化器内科 I	教授	大宮 直木
埼玉県立小児医療センター 消化器・肝臓科	副部長	岩間 達	防衛医科大学校病院 消化器内科	教授	穂刈 量太
佐賀大学医学部附属病院 光学医療診療部	診療教授	江崎 幹宏	松田病院 消化器内科	副院長	中井 勝彦
札幌IBDクリニック	院長	田中 浩紀	南奈良総合医療センター 外科	部長	植田 剛
札幌厚生病院 IBDセンター	副院長	本谷 聡	宮城県立こども病院 消化器科	副院長	虻川 大樹
札幌東徳洲会病院 IBDセンター	副院長	前本 篤男	宮崎大学医学部附属病院 消化器内科	講師	山本章二朗
札幌徳洲会病院 IBDセンター	副院長	蘆田 知史	横浜市立市民病院 炎症性腸疾患科	センター長	小金井 一隆
鮫島病院 内科	内科部長	西俣 伸亮	横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター	准教授	国崎 玲子
自衛隊中央病院 第1内科	部長	青野 茂昭	琉球大学病院光学医療診療部	部長	外間 昭
滋賀医科大学 消化器・血液内科	教授	安藤 朗			
自治医科大学大学院 消化器内科	教授	山本 博徳			
島根大学医学部 内科学講座(内科学第二)	教授	石原 俊治			
順天堂大学医学部附属順天堂医院 小児科・思春期科	教授	清水 俊明			
昭和大学横浜市北部病院 消化器センター	助教	前田 康晴			
市立函館病院 消化器内科	医長	木下 賢治			
聖路加国際病院 消化器内科	消化器センター長	福田 勝之			
千葉大学医学部付属病院 消化器内科	准教授	加藤 順			
辻仲病院柏の葉 消化器内科・IBDセンター	部長・センター長	竹内 健			
			【研究協力機関】		
			須崎くろしお病院 内科	科長	一森 俊樹
			藤沢湘南台病院消化器内科 炎症性腸疾患センター	センター長	松田 玲圭
			よこやまIBDクリニック	院長	横山 正

2020年5月17日

久松班長・Taskforceのみなさま
ご相談です。

それで、Registryのほうですが（アンケートではなく）、いまUMIN登録もやっています。（石原先生のご指摘です。ありがとうございました。）
で、この研究のタイトルも考えていたのですが。

Registry of IBD patients with COVID-19 in Japan (REIWA study)

ではだめですか？

何かよいタイトルがあれば、ご教示ください。

仲瀬裕志 拝



<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data-all/>

2020年5月19日



久松 理一 <thisamatsu@ks.kyorin-u.ac.jp>

To hiropynakase@gmail.com, matsuoka, crohnulcerativecolitis2007@yahoo.co.jp, tmatsumo@iwate-med.ac.jp, 平井, 松浦, Naoki, Hideki, sishihara ▼

これ考えてて徹夜しました。。。。

JOVIAL Registry (JOVIAL 陽気な)

Registry for **J**apan **CO**VID-19 **pa**tients in infl**am**mat**o**ry bow**e**l **d**isease

ASPIDA (ギリシア語で盾の意味)

Analy**s**is of **pa**tients with **CO**VID-19 in infl**am**mat**o**ry bow**e**l **d**isease

J-COSMOS (cosmosもともとギリシア語からきており、秩序、整列、宇宙の意味でカオスの反対)

Japan **CO**VID-19 **s**urveill**a**nce in infl**am**mat**o**ry bow**e**l **d**isease

この中ではJ-COSMOSがお気に入り。

久松 理一 (ひさまつ ただかず)

2020年5月29日



平山 大輔

「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班

久松班長

Japan IBD COVID-19 Taskforceの先生方各位

平素は格別のご高配を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。札幌医科大学消化器内科学講座の平山大輔と申します。
今回、COVID-19とIBDのレジストリ研究の英語研究名決定に関して、僭越ながら小生がとりまとめさせて頂きたく存じます。

本日まで各先生方より、計10個の英語研究名とその略称の案を頂きました。
大変お忙しい中、候補案を提出して頂き誠にありがとうございました。

添付のエクセルファイルにアルファベット順で羅列致しましたので、ご推薦いただける案を2つ選んでエクセルファイル内に○をつけて頂き、平山のみへ返送して頂きたく存じます。（仲瀬へは送らないようにご留意下さい。）

お忙しいところ大変恐縮ですが、6月1日(月)を期限とさせて頂きたく存じます。
それではご返信の程をお待ちしております。

札幌医科大学消化器内科学講座

平山 大輔 拝

	略称		備考
No.1	AMABIE	/ bowel disease patients infected with	
No.2	ASPIDA	9 in inflammatory bowel disease	ギリシア語で盾の意味
No.3	COVID-IBD-J study		
No.4	J-COBRA	y Bowel Disease Registry in REIWA	
No.5	J-COSMOS	inflammatory bowel disease	cosmos もともとギリシア語からきており、秩序、整列、宇宙の意味でカオスの反対
No.6	JOVIAL Registry	ents in inflammatory bowel disease	JOVIAL 陽気な
No.7	JRICO	D-19	単純にジェリコと発音
No.8	JUNCTIO	patients with inflammatory bowel disease	ユンクティオ：ラテン語でつながり、人と人との絆を意味します
No.9	REIWA study	ID-19 in Japan	
No.10	RNA-CONQUER	D with COVID-19 aiming better quality of	
	(アルファベット順)		



2020年6月3日

Registry のproject name `matsuoka@fk2.so-net.ne.jp` x



仲瀬 裕志

Taskforceのみなさまへ

おはようございます。

投票結果により

Registryのproject nameは

J-COSMOS(Japan COVID-19 surveillance in inflammatory bowel disease)

に決定しました。

ご協力ありがとうございました。

仲瀬裕志 拝



久松 理一

おお、徹夜したかいがありました！

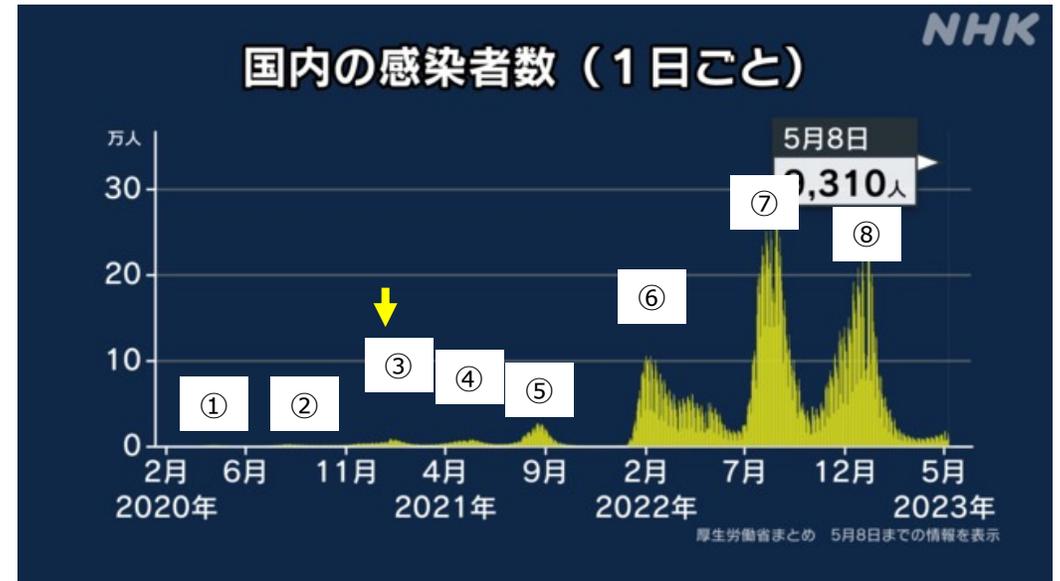
久松 理一（ひさまつ ただかず）

2021年1月16日

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班主催

「COVID-19関連IBD調査研究」web講演会

1. JAPAN IBD Taskforceの発足から現在までの取り組み
久松 理一（杏林大学医学部消化器内科学 難治性炎症性腸管障害に関する調査研究 研究代表者）
2. COVID-19関連IBD～海外の現状
松岡 克善（東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科）
3. 本邦におけるCOVID-19関連IBDの実態-J-COSMOSからみえてきた現状-
仲瀬 裕志（札幌医科大学 消化器内科学講座）
4. COVID-19合併IBD患者症例の経験-J-COSMOSの登録を踏まえて-
櫻庭 裕丈（弘前大学大学院医学研究科消化器血液内科学講座）
前本 篤男（札幌東徳洲会病院 IBDセンター）
5. 「J-DESIRE登録の現状と研究代表者からのお願い」 仲瀬 裕志
6. まとめ 久松 理一 班長



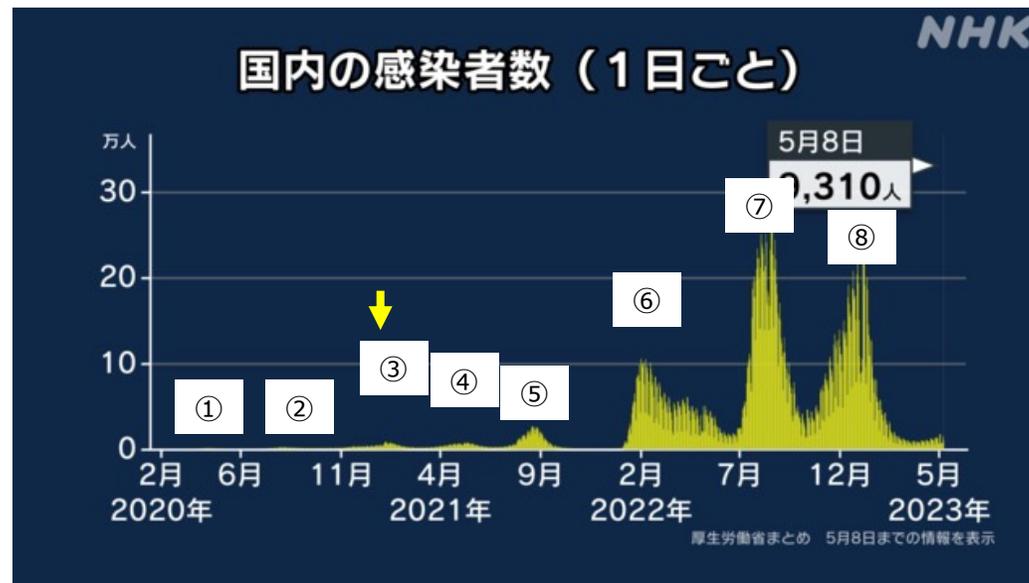
<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data-all/>

IBD患者におけるCOVID-19発症数



登録日ではなく、COVID-19発症日で
グラフを作成しています。

仲瀬 裕志 教授作成



<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data-all/>

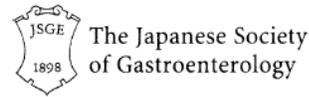
中間解析論文

2021年11月20日 第1稿完成

2021年12月17日 投稿

2022年01月11日 Accept

J Gastroenterol (2022) 57:174–184
<https://doi.org/10.1007/s00535-022-01851-1>



ORIGINAL ARTICLE—ALIMENTARY TRACT

Interim analysis of a multicenter registry study of COVID-19 patients with inflammatory bowel disease in Japan (J-COSMOS)

Hiroshi Nakase¹  · Yuki Hayashi¹ · Daisuke Hirayama¹ · Takayuki Matsumoto² · Minoru Matsuura³ · Hideki Iijima⁴ · Katsuyoshi Matsuoka⁵ · Naoki Ohmiya⁶ · Shunji Ishihara⁷ · Fumihito Hirai⁸ · Daiki Abukawa⁹ · Tadakazu Hisamatsu³ · J-COSMOS group



<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data-all/>

187名が登録された

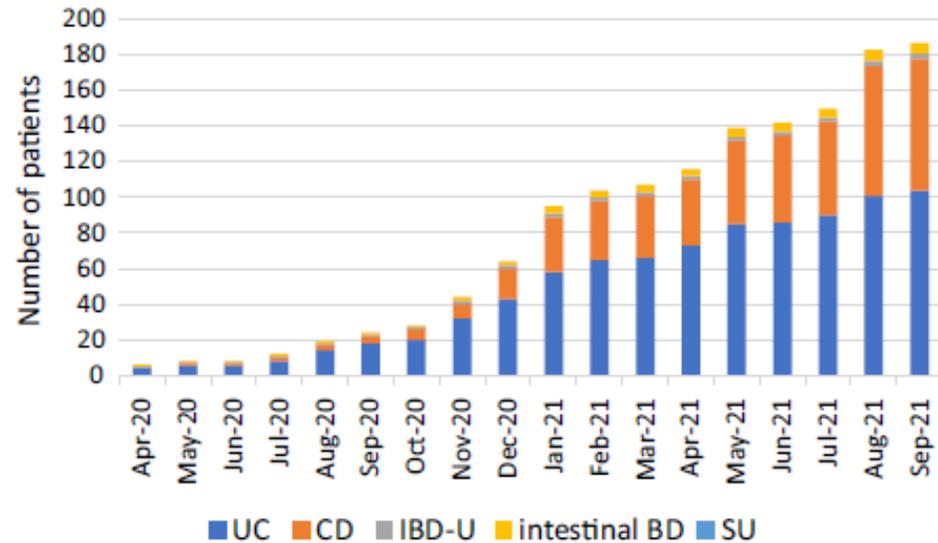
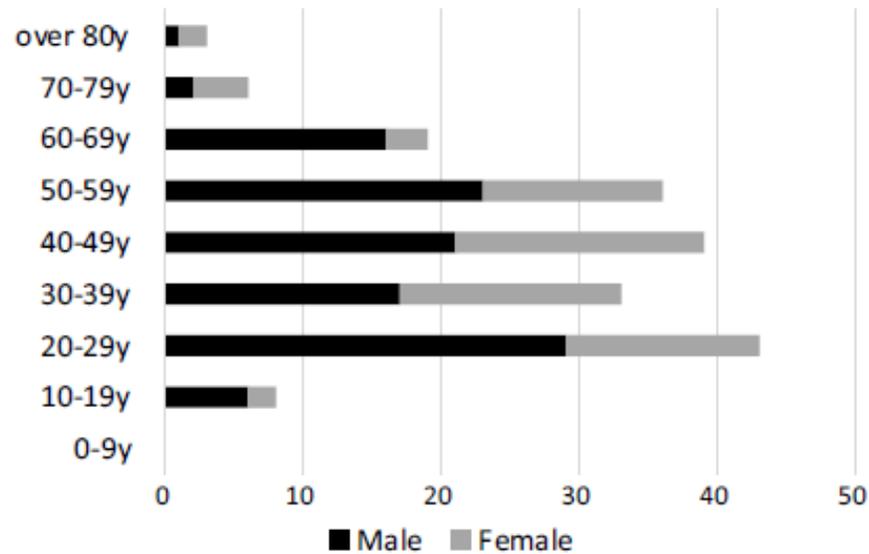


Table 1 The characteristics of IBD patients with COVID-19

Patients' profile

Age (years) ± SD	42.0 ± 15.6
Gender (M/F) (n)	115 / 72
Height (cm) ± SD	166.0 ± 9.4
Weight (kg) ± SD	61.0 ± 12.4
BMI ± SD	21.6 ± 4.4
BMI > 30 (n)	9
Smoker (current) (%)	13/187 (7.0%)
All comorbidity (%)	58/187(31.0%)

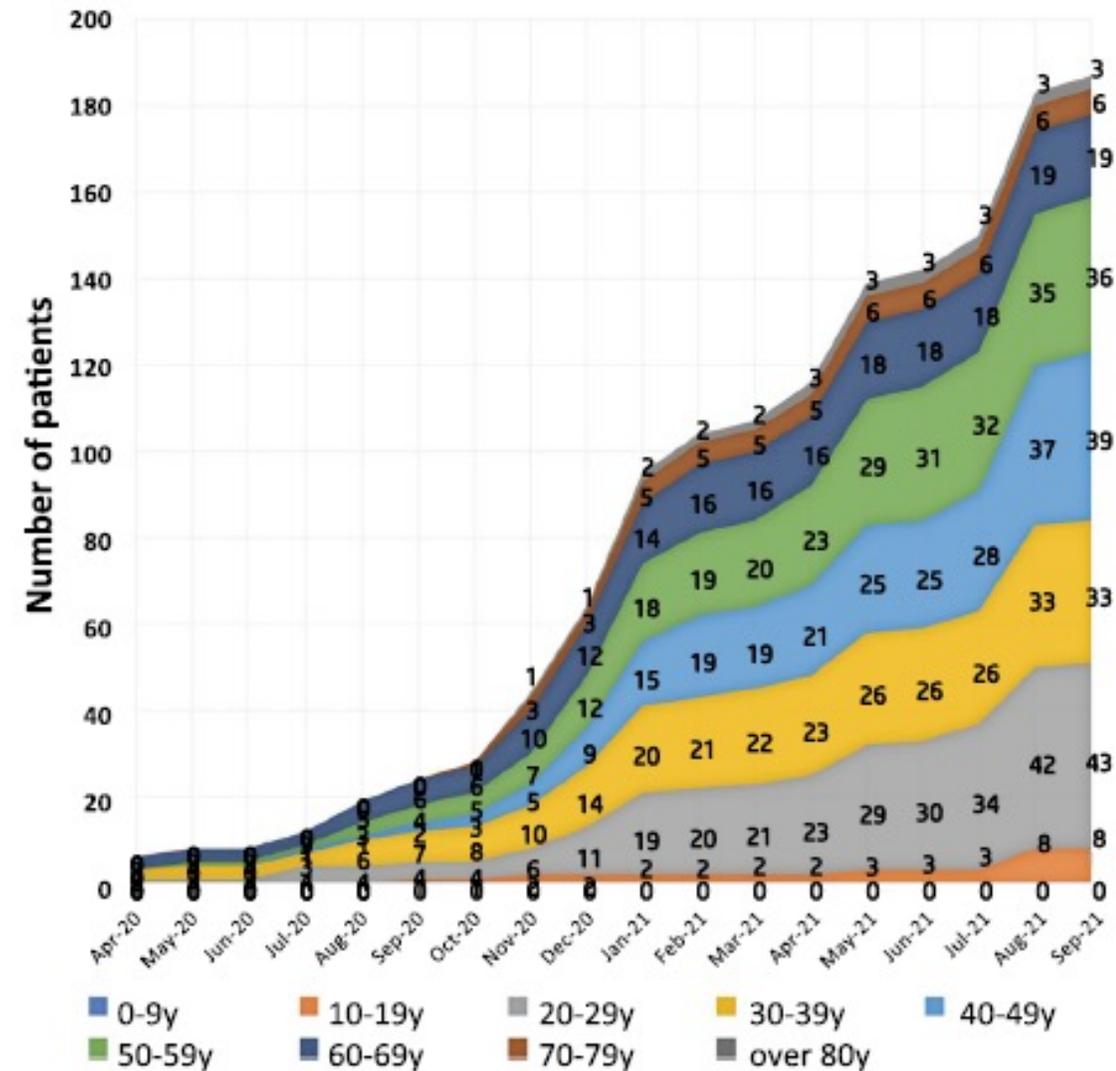
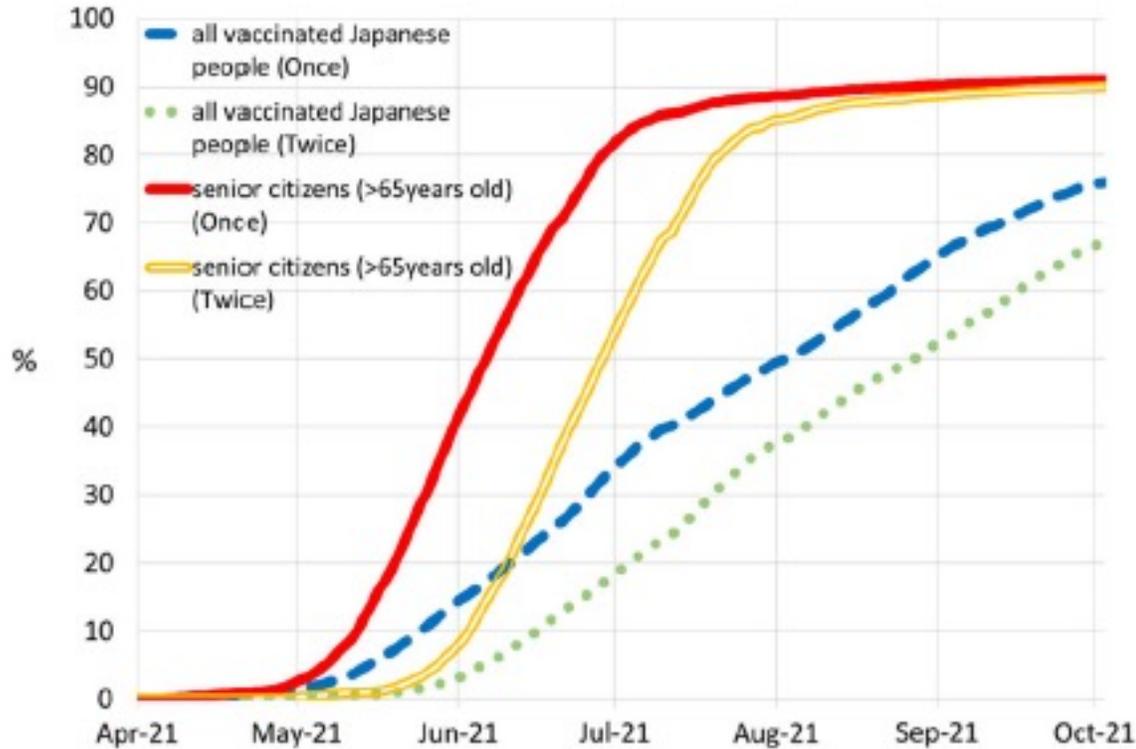
Diagnosis of IBD

UC	104
CD	74
IBD-U	3
Intestinal BD	6
SU	0

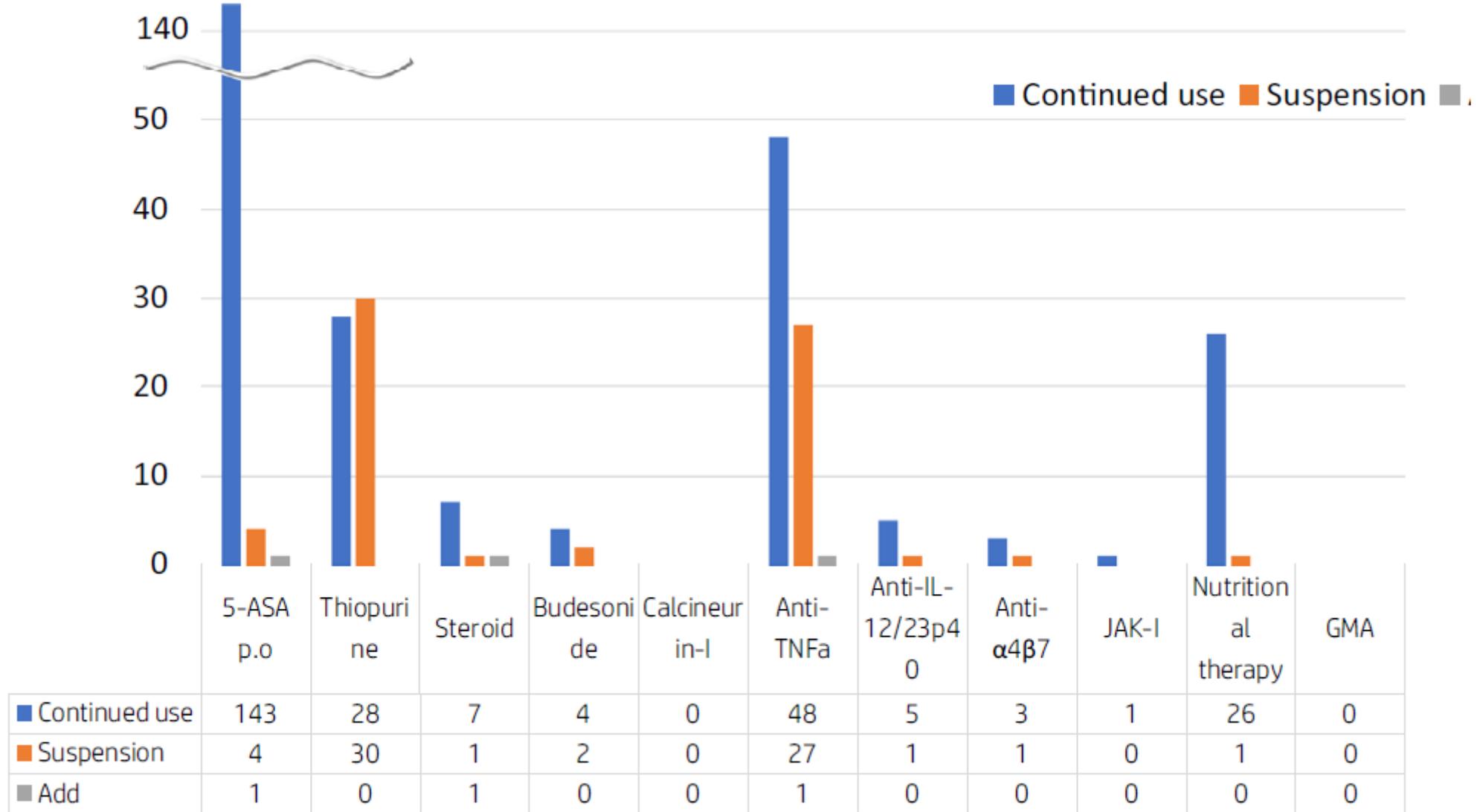
Disease activity (at diagnosis of COVID-19)

Remission	136
Mild	42
Moderate	5
Severe	4

高齢者への先行ワクチン接種によって、感染者の中で高齢者の割合が低下した



感染中のIBD治療



重症化は7%、死亡者は0

Severe COVID-19	7% (12/184)
Death	0% (0/184)

Nakase H, et al. J Gastroenterol. 57:174-84, 2022

年齢、BMI、ステロイドが重症化のリスク因子

Table 4 Risk factor of COVID-19 severity in Japanese IBD patients

Risk factor	Odds ratio	<i>p</i> value
Age	1.07	0.0101
BMI	1.18	0.00812
5-ASA	1.34E + 07	0.992
Steroid	1.74	0.0218

中間解析論文で明らかになったこと

- 重症化率は低い
- 薬は一時的に休薬している
- ワクチン接種によって高齢者の発症率が低下した可能性
- 重症化のリスク因子は年齢、BMI、ステロイド

2022年3月2日

Should We Continue or Discontinue Inflammatory Bowel Disease Medication in Patients With Coronavirus Disease 2019?

YUKI HAYASHI

HIROSHI NAKASE

Department of Gastroenterology and Hepatology
Sapporo Medical University of Medicine
Sapporo, Japan

TADAKAZU HISAMATSU

Department of Gastroenterology and Hepatology
Kyorin University School of Medicine
Tokyo, Japan

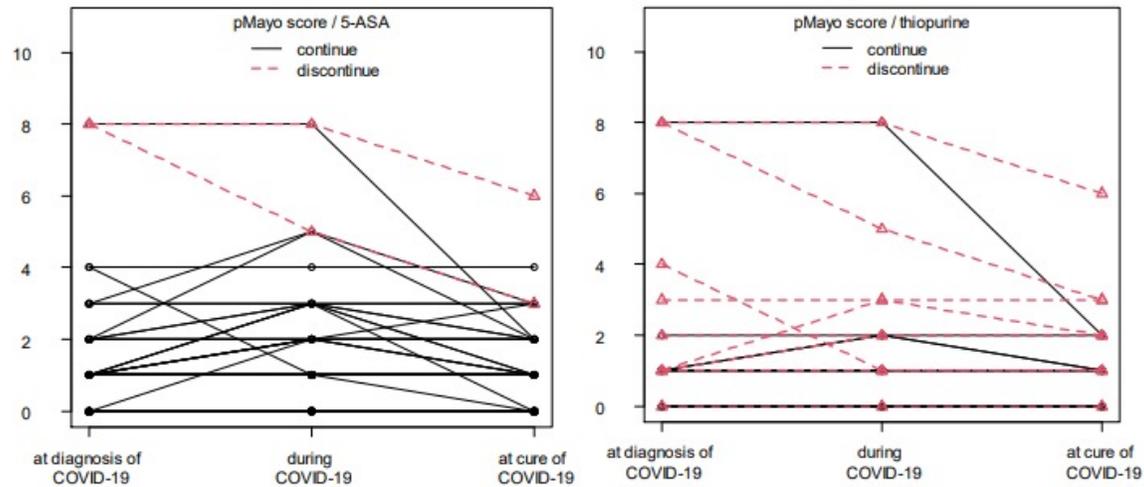
J-COSMOS GROUP



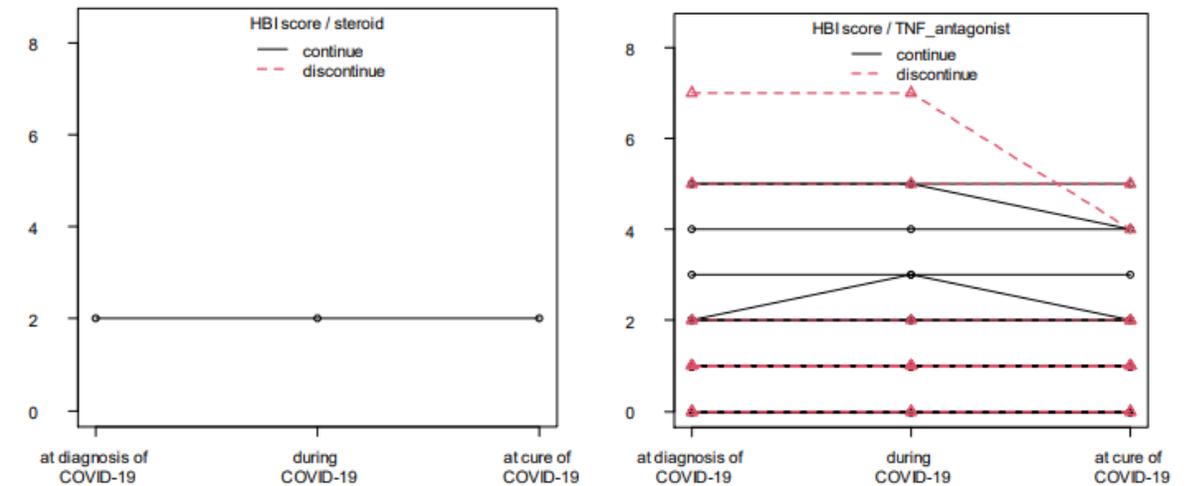
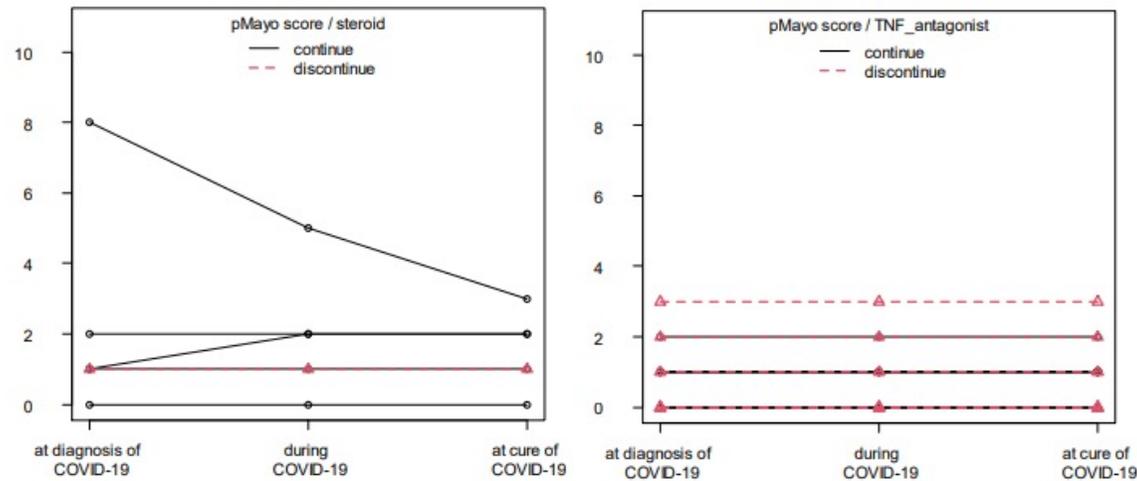
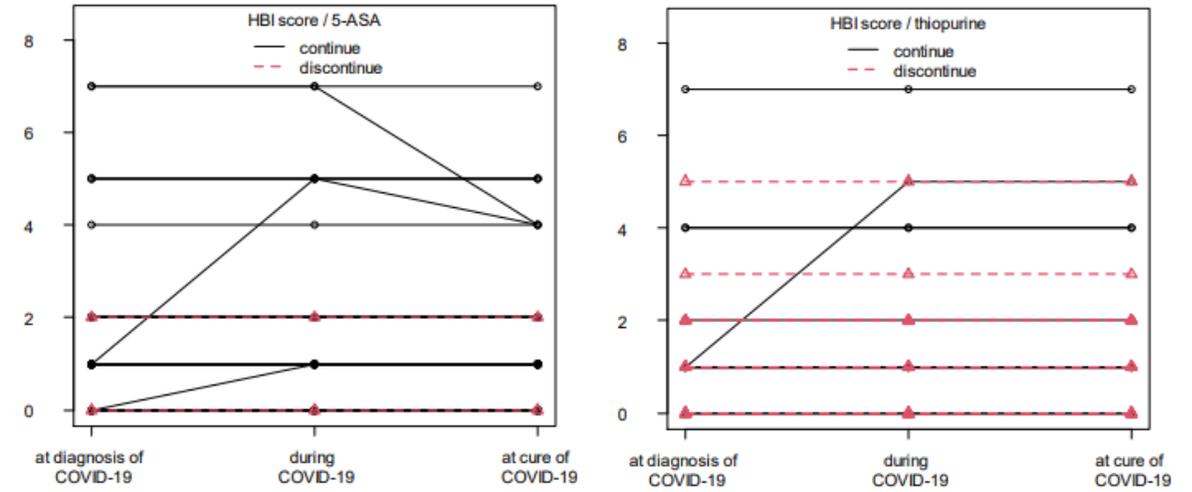
<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data-all/>

IBD治療薬の中断とIBDの悪化は相関しない

UC



CD



最終解析論文

2022年12月31日 登録終了
2023年03月08日 第1稿完成
2023年04月07日 投稿
2023年07月06日 Accept

Final analysis of COVID-19 patients with inflammatory bowel disease in Japan (J-

COSMOS): a multicenter registry cohort study

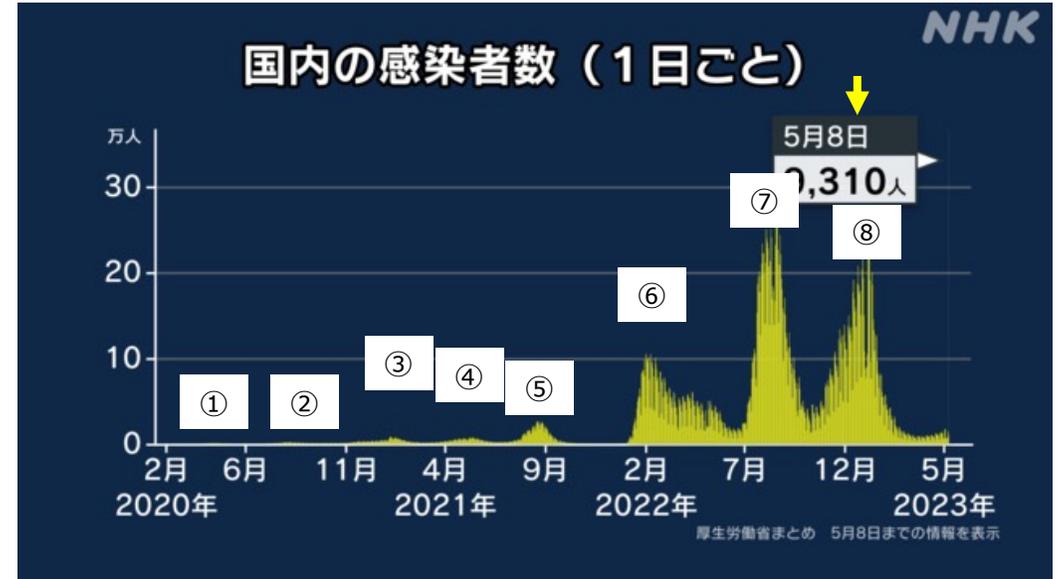
Short title: Japanese patients with COVID-19 and IBD

Hiroshi Nakase^a, Yuki Hayashi^a, Yoshihiro Yokoyama^a, Takayuki Matsumoto^b, Minoru

Matsuura^c, Hideki Iijima^d, Katsuyoshi Matsuoka^e, Naoki Ohmiya^f, Shunji Ishihara^g,

Fumihito Hirai^h, Daiki Abukawaⁱ, Tadakazu Hisamatsu^c. J-COSMOS group

Gastro Hep Advances [in press]



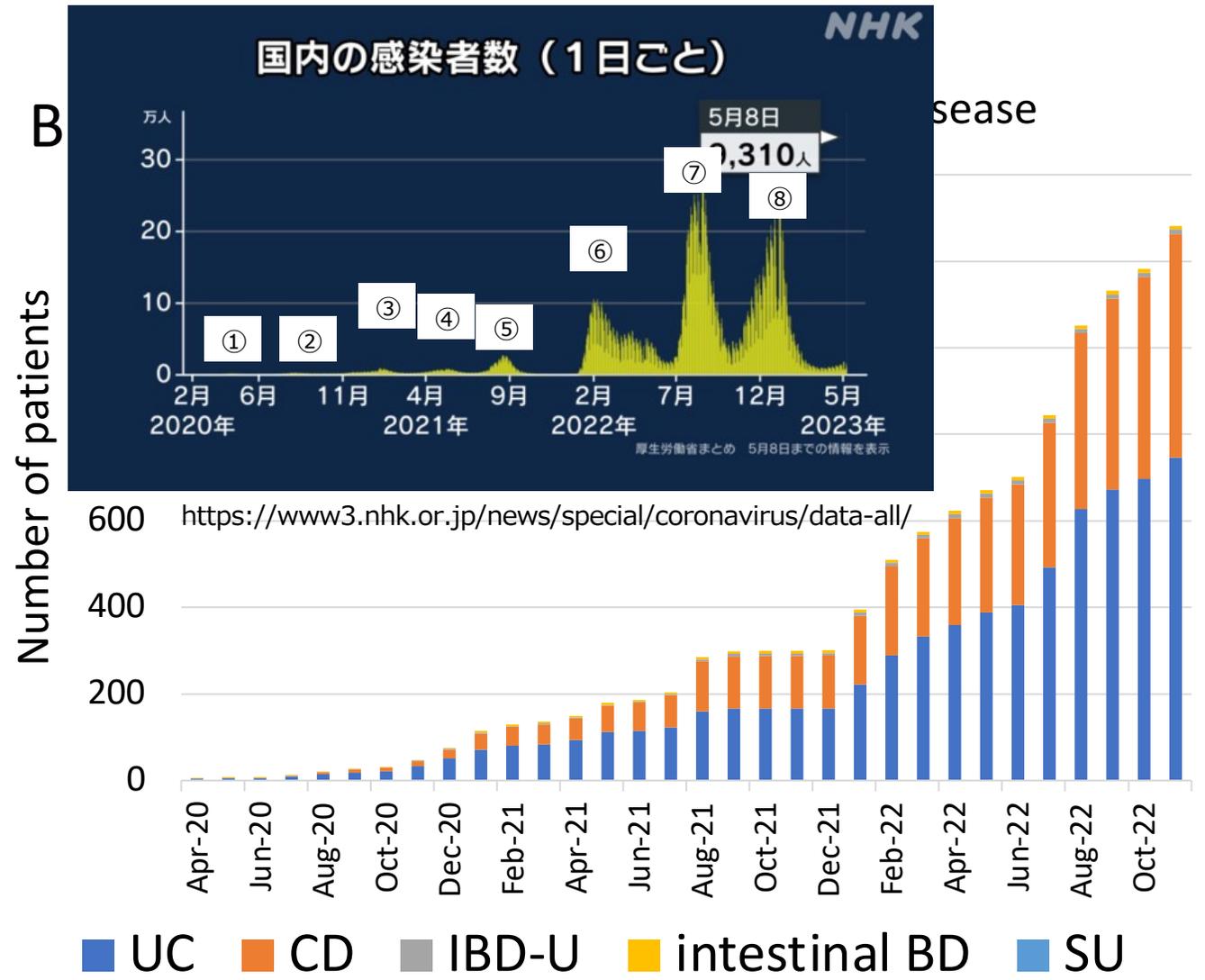
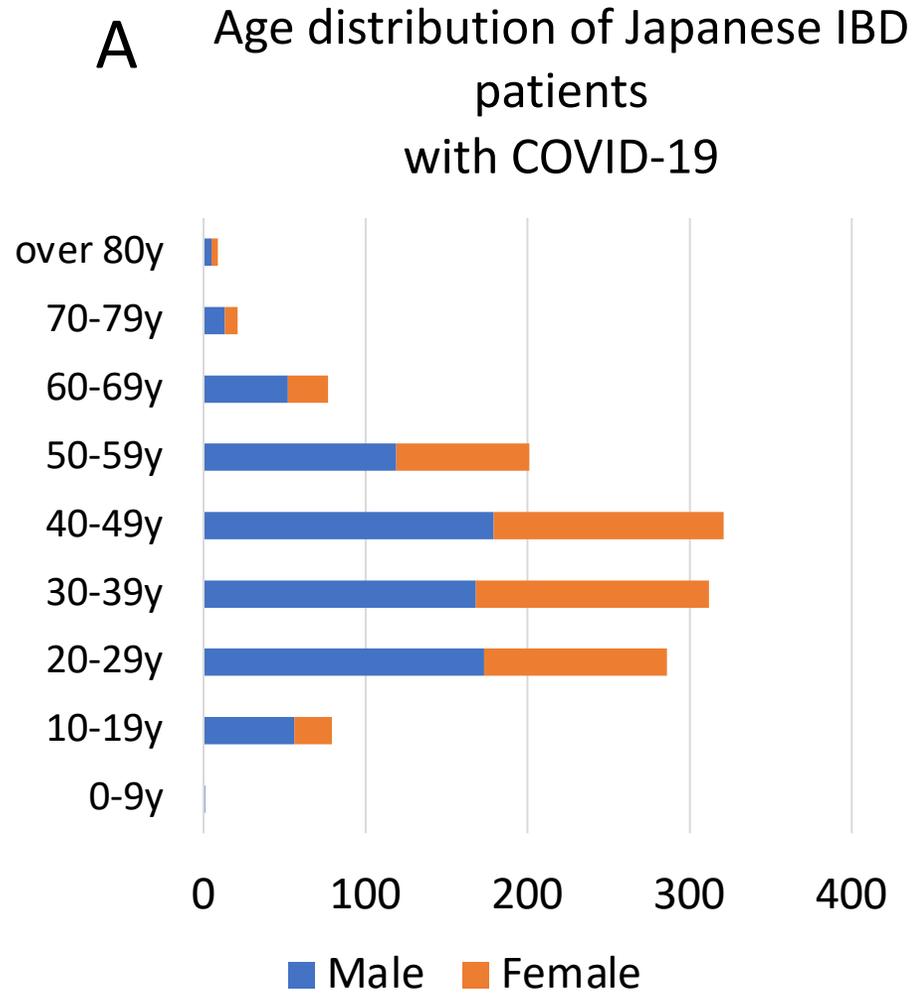
<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data-all/>

1308名が登録された

Table 1. Baseline characteristics of patients

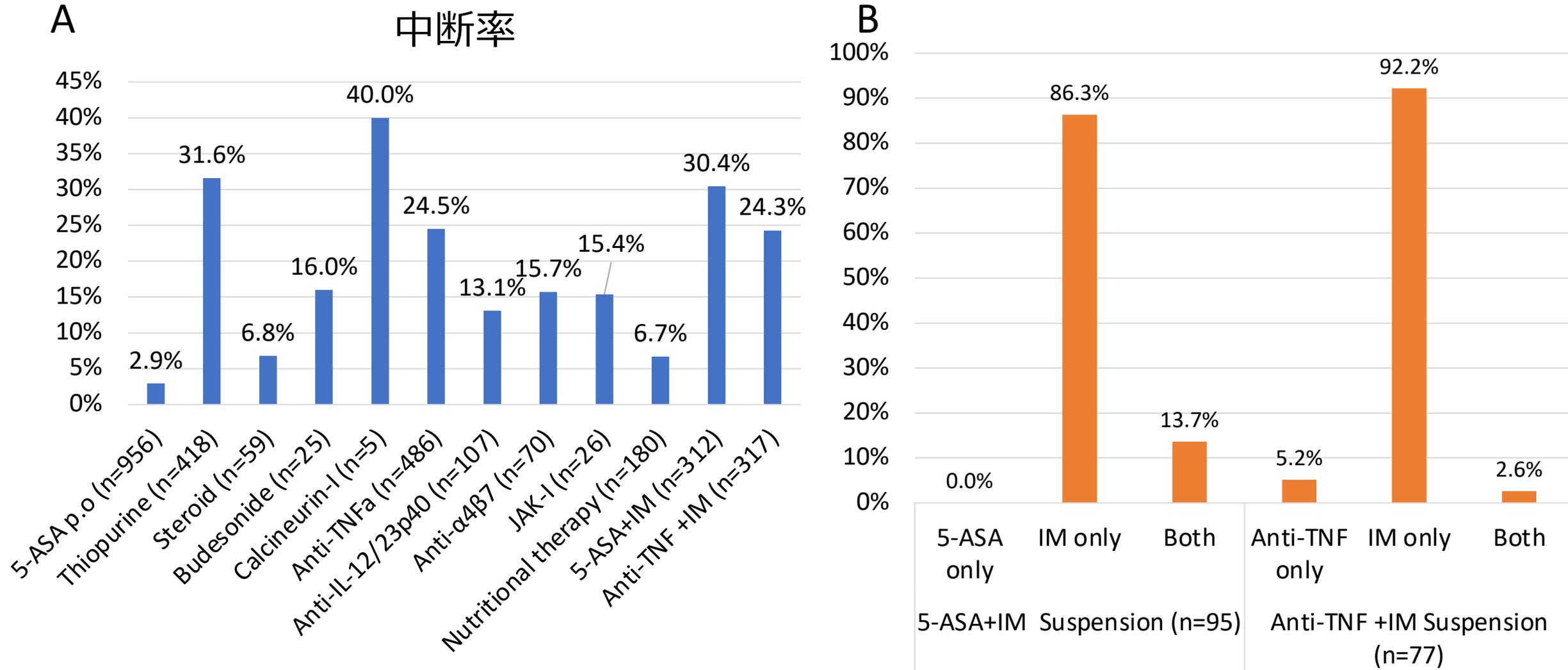
Participating facilities (n)	77
Registered cases (n)	1308
Age(years) \pm SD	39 \pm 14.2
Gender (M/F) (n)	766/542
Height (cm) \pm SD	166.0 \pm 10.2
Weight (kg) \pm SD	59.0 \pm 23.2
BMI (kg/m ²) \pm SD	21.5 \pm 11.9
BMI > 30 kg/m ² (n)	55
Smoker (current) (%)	112/1229 (9.1 %)
Past smoking (%)	241/1229 (19.6 %)
All comorbidity (%)	330/1248 (26.4 %)
Diagnosis of IBD	
UC	766
CD	523
IBD-U	10
Intestinal BD	9
Duration of IBD (months) \pm SD	105 \pm 106.6
Disease activity of IBD (at diagnosis of COVID-19)	
Remission	940/1236 (76.0%)
Mild	238/1236 (19.3%)
Moderate	53/1236 (4.3%)
Severe	5/1236 (0.4%)

Figure.1



IBD治療

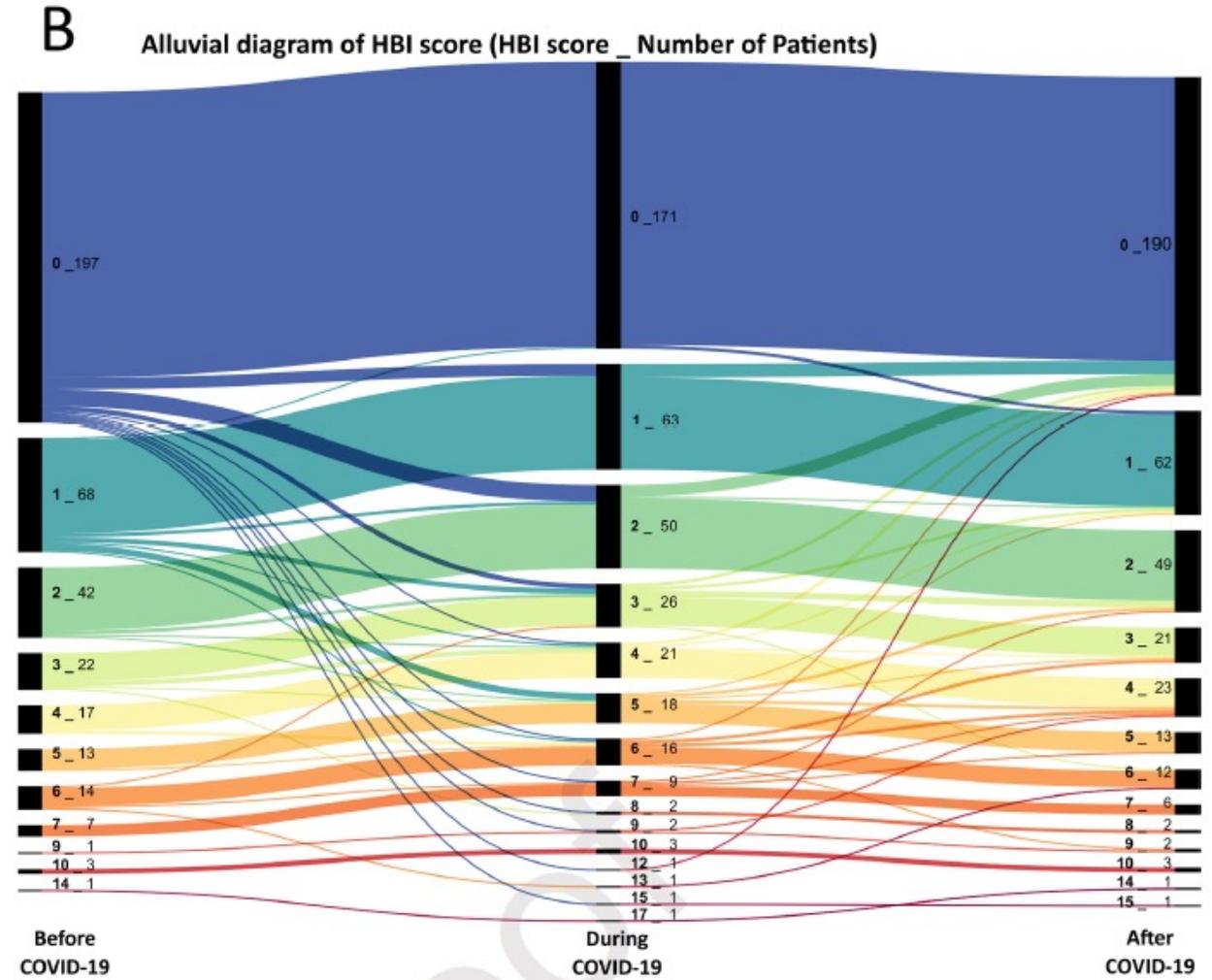
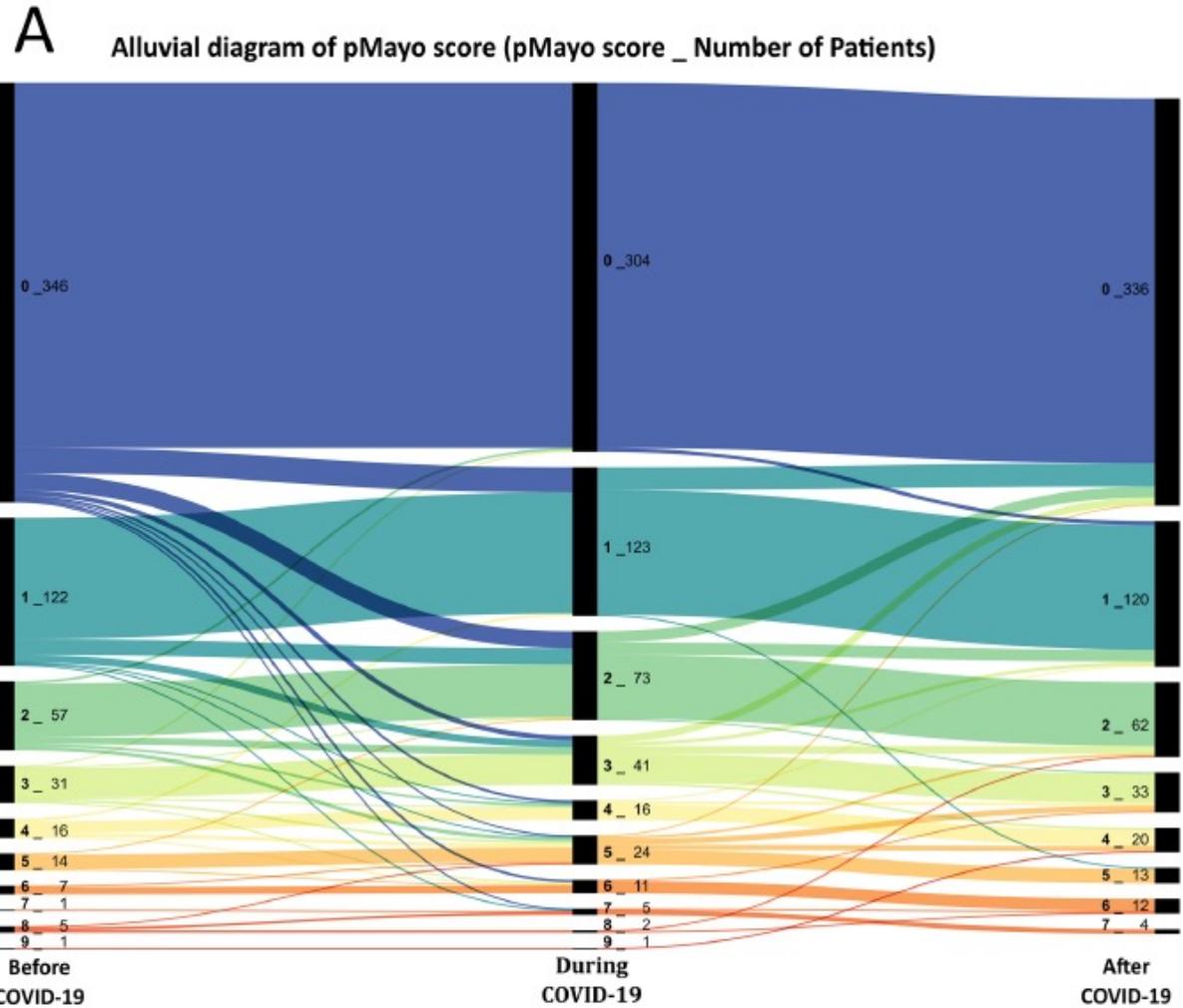
Figure 2



重症化率は1.6%、死亡者は0

COVID-19 severity	Total	Before delta variant	Delta variant
Non-severe	1257	222	46
Severe	18	13	3
Critical (ICU or ventilation)	3	3	0
Death	0	0	0

IBDの活動性への影響は少ない



重症化因子は肥満/脳血管疾患既往歴

Supplementary Table 2. COVID-19 severity and risk factors by stepwise logistic regression analysis

Risk factor	Odds ratio	p value	Logistic regression
BMI	1.20	0.0068	AIC=124.86
Cerebrovascular diseases history	1.14	0.0293	

BMI, Body mass index; AIC, Akaike's information criterion

最終解析論文で明らかになったこと

- 重症化率は低い、死亡者は0
- COVID-19発症後のIBD悪化は少ない
- 重症化因子は肥満/脳血管疾患既往
- 中間解析で重症化リスク候補となったステロイドは、最終的には有意差なし
- 免疫抑制治療薬による重症化リスクは低い

2023年9月14日札幌医科大学よりプレスリリース



写真左から：医学部消化器内科学講座 仲瀬裕志教授、林 優希助教、横山 佳浩助教

【研究成果】炎症性腸疾患患者における COVID-19 重症化因子を解明

肥満や脳血管疾患の既往歴が重症化のトリガー

～日本人炎症性腸疾患患者におけるCOVID-19感染者の多施設共同レジストリ研究 (J-COSMOS)の最終解析～

J-COSMOSの意義

- 日本のIBD診療医がCOVID-19に立ち向かった重要な記録
- **死亡者 0** → 日本のIBD診療のレベルの高さを反映
- J-COSMOSに参加された全国の先生方にお礼を申し上げます。
- 札幌医科大学の消化器内科の先生方のご尽力にお礼を申し上げます。

End of Slides